

○計画素案からの主な変更内容について

【令和 2 年 3 月 6 日文教委員会における素案からの変更】

No	頁	該当箇所	変更前	変更後
1	11	第 2 章 計画策定にあたって 第 3 節 立川市の学校教育を取り巻く状況	【表】学校施設の現況 ※ 1 の通り	【表】学校施設の現況 ※ 2 の通り
2	42	第 4 章 事業の展開と今後の方向性 基本方針 2 教育支援と教育環境の充実	【表】No 4 - 4 - ① 適応指導教室との連携 適応指導教室と教育相談の… スクールソーシャルワーカー等とも連携しながら、 <u>在籍校への復帰及び将来的な社会的自立に向けて支援します。</u>	【表】No 4 - 4 - ① 適応指導教室との連携 適応指導教室と教育相談の… スクールソーシャルワーカー等とも連携しながら、 <u>不登校児童・生徒の学校等との関わりや、自分の進路の選択肢を広げられるよう支援します。</u>
3	45		【表】No 5 - 1 - ② 不登校対策 適応指導教室（小学生：おおぞら、… 在籍校と連携して不登校児童・生徒の学習指導や教育相談、 <u>在籍校への復帰及び将来的な社会的自立に向けた支援など、柔軟な支援を行います。</u>	【表】No 5 - 1 - ② 不登校対策 適応指導教室（小学生：おおぞら、… 在籍校と連携して不登校児童・生徒の学習指導や教育相談などを通し、 <u>学校等との関わりや、自分の進路の選択肢を広げられるよう支援します。</u>

4	47	第4章 事業の展開 と今後の方向性 基本方針2 教育支援と教育環境の充実	<p>【現状と課題】 学校施設は建築後40年以上…</p> <p>ICT環境の充実については、平成29（2017）年12月に文部科学省から「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」が発表されました。この整備方針は、平成30（2018）年度から5か年計画で学校のICT環境整備を推進していくもので、「学習者用コンピュータを3クラスに1クラス分程度」を計画的に整備していくこと等が示されています。現状の本市整備状況は5クラスに1クラス分程度であることから、整備方針どおりに配置するためには、平成30（2018）年度末の整備状況から試算すると、新たに約2,730台、計5,150台の配備が必要となるなど、財源確保は大きな課題です。</p>	<p>【現状と課題】 学校施設は建築後40年以上…</p> <p>ICT環境の充実については、「児童・生徒を誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや、創造性を育む学びを実現すること」を目的とした、国のGIGAスクール構想に基づく児童・生徒の1人1台端末の整備が急務となっています。国の令和元年度補正予算においては1人1台端末の整備費等の予算が計上され、また新型コロナウイルスの感染症対策に伴い、令和2年度補正予算においては早期実現に向けた追加予算が計上されました。しかしながら、ICT環境の整備については、国庫補助等を活用したとしても維持費等で多大な経費がかかることから、当該財源の確保が課題となっています。</p>
5	48		<p>2 ICT環境の充実 児童・生徒のICT教育環境の整備、学校間ネットワークの構築と運用、併せて統合型校務支援システム導入等による校務の効率化を推進します。</p>	<p>2 ICT環境の充実 国のGIGAスクール構想に基づいた児童・生徒の1人1台端末の整備、学校間ネットワークの構築と運用、統合型校務支援システム導入等を推進します。</p>
6	48		<p>【表】No6－2－③ ICT環境整備 「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針（平成29（2017）年12月26日文部科学省策定）」に基づき、児童・生徒の学習用タブレット端末等を計画的に更新・配備していくように努めます。</p>	<p>【表】No6－2－③ ICT環境整備 GIGAスクール構想に基づき、児童・生徒の1人1台端末の整備を計画的に進めていきます。</p>
7	75～78	資料編 2 基礎データ	—	基礎データについては、最新の数値等を加える。

8	79	資料編 3 計画策定体制・経過	—	【表】（1）教育委員会定例会 第10回 令和2年5月29日 ○立川市第3次学校教育振興 基本計画原案について
---	----	--------------------	---	-----------------------------------------------------------------

※網掛けはパブリックコメントを受けた変更

※1 ■学校施設の現況

小学校					中学校				
学校名	建築年	敷地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	学校名	建築年	敷地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)
第一小学校	平成26年	11,512	7,317	876	立川第一中学校	昭和35年	16,720	6,697	1,428
第二小学校	昭和40年	13,150	6,072	852	立川第二中学校	昭和35年	25,234	7,395	1,765
第三小学校	昭和41年	11,808	5,419	871	立川第三中学校	昭和35年	17,975	7,266	1,713
第四小学校	昭和38年	15,141	5,586	883	立川第四中学校	昭和39年	17,213	7,084	1,541
第五小学校	昭和39年	15,624	5,726	868	立川第五中学校	昭和39年	19,007	7,552	1,597
第六小学校	昭和40年	11,137	調整中				21,260	7,476	975
第七小学校	昭和40年	15,179					21,746	7,342	1,393
第八小学校	昭和40年	19,610					18,097	6,919	1,392
第九小学校	昭和41年	12,370					17,992	7,210	1,397
第十小学校	昭和38年	15,716					175,244	64,941	13,201
西砂小学校	昭和42年	14,978	5,817	738					
南砂小学校	昭和45年	9,626	2,721	749					
幸小学校	昭和46年	16,165	5,900	768					
松中小学校	昭和46年	16,144	6,108	735					
大山小学校	昭和47年	16,508	5,410	756					
柏小学校	昭和52年	16,728	6,301	882					
上砂川小学校	昭和58年	12,419	5,434	852					
新生小学校	昭和43年	15,516	6,341	710					
若葉台小学校	昭和46年	16,441	5,882	737					
計		275,772	106,557	15,592					

※2 ■学校施設の現況

小学校					中学校				
学校名	建築年	敷地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	学校名	建築年	敷地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)
第一小学校	平成26年	11,512	7,317	876	立川第一中学校	昭和35年	16,720	6,697	1,428
第二小学校	昭和40年	13,150	6,072	852	立川第二中学校	昭和35年	25,234	7,395	1,765
第三小学校	昭和41年	11,808	5,419	871	立川第三中学校	昭和35年	17,975	7,266	1,713
第四小学校	昭和38年	15,141	5,586	883	立川第四中学校	昭和39年	17,213	7,084	1,541
第五小学校	昭和39年	15,624	5,726	868	立川第五中学校	昭和39年	19,007	7,552	1,597
第六小学校	昭和40年	11,137	5,217	868	立川第六中学校	昭和49年	21,260	7,476	975
第七小学校	昭和40年	15,179	3,899	921	立川第七中学校	昭和53年	21,746	7,342	1,393
第八小学校	昭和40年	19,610	7,108	1,041	立川第八中学校	昭和53年	18,097	6,919	1,392
第九小学校	昭和41年	12,370	5,768	718	立川第九中学校	昭和54年	17,992	7,210	1,397
第十小学校	昭和38年	15,716	4,531	767	計		175,244	64,941	13,201
西砂小学校	昭和42年	14,978	5,817	738					
南砂小学校	昭和45年	9,626	4,657	749					
幸小学校	昭和46年	16,165	5,900	768					
松中小学校	昭和46年	16,144	6,108	735					
大山小学校	昭和47年	16,508	5,410	756					
柏小学校	昭和52年	16,728	6,301	882					
上砂川小学校	昭和58年	12,419	5,434	852					
新生小学校	昭和43年	15,516	6,341	710					
若葉台小学校	昭和46年	16,441	5,905	737					
計		275,772	108,516	15,592					